

<資 料>

和牛産肉能力検定（直接法：平成24年度）

片岡博行

Individual Performance Test of Sire in Japanese Black Cattle

Hiroyuki KATAOKA

要 約

候補種雄牛を雄子牛から選抜するため、公益社団法人全国和牛登録協会の定める産肉能力検定（直接法）を実施した。

- 1 平成24年度には7頭の直接検定を実施し、5頭の検定が終了した。
- 2 検定終了牛の平均DGは、1.296kg、平均得点は82.74点であった。
- 3 検定成績、血統、体型等を総合的に評価した結果、「信茂玉」（本原登録後「美咲秋藤」に改名）と「茂花矢」を候補種雄牛として選抜した。

キーワード：和牛、黒毛和種、種雄牛、産肉能力検定（直接法）、増体量

緒 言

優良種雄牛を作出するため、県内優良雌牛から生産された産肉性及び種畜性の優れた雄子牛について、増体性、飼料効率及び種畜性を判定するため、産肉能力検定（直接法）を実施した。

た産肉能力育種価の高い繁殖雌牛から生産された雄子牛について産子調査を実施し、発育状況等の優れたものを検定牛として選抜した。

平成24年度検定実施の検定牛は表1に示したとおりで、父牛別にみると、「茂洋」の産子が3頭、「新糸藤」の産子が1頭、「北仁」の産子が1頭、「百合茂」の産子が1頭、「光平照」の産子が1頭の計7頭であった。

このうち、平成24年度に検定終了したものは5頭であった。なお、表2に検定牛の産肉形質に係る期待育種価を示した。

材料及び方法

- 1 検定牛
肉用牛広域後代検定推進事業により認定され

表1 検定牛の概要

セットNo.	名 号	生年月日	登録番号	血 統			産地	検定期間
				父	母	母の父		
H24-1-1	千恵藤	H24.01.07	2011子受卵岡黒1962	新糸藤	ちえこ59	平茂勝	美咲町	
H24-1-2	信茂玉	H23.12.19	2011子受卵岡黒5911	茂洋	第8あきふじ	第2富藤	津山市	H24.08.01 ~ H24.11.21
H24-1-3	茂花矢	H23.12.19	2012子受卵岡黒4171	茂洋	しんはなや7	利花	津山市	
H24-2-1	玉茂宮	H24.04.28	2012子受卵岡黒4232	茂洋	第45たま8の3	第8隼福	津山市	H24.11.28 ~ H25.03.20
H24-2-2	藤姫岩	H24.03.31	2011子受卵岡黒5911	北仁	ひめいわ333	寿恵福	美咲町	
H24-3-1	百合波	H24.07.04	2012子受卵岡黒4549	百合茂	ほなみ	平茂勝	津山市	H25.02.20 ~ H25.06.12
H24-3-2	光文代	H24.06.10	2012子受卵岡黒1262	光平照	ふみよ66	北国7の8	美咲町	

表2 検定牛の産肉能力期待育種価 (kg,cm²,cm,脂肪交雑基準値)

セットNo.	名 号	期 待 育 種 価			
		枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	脂肪交雑
H24-1-1	千恵藤	54.661 (A3)	8.124 (A3)	0.801 (A3)	1.483 (A1)
H24-1-2	信茂玉	53.062 (A3)	12.335 (5%)	0.400 (C)	1.322 (A3)
H24-1-3	茂花矢	30.395 (B2)	11.143 (A1)	0.154 (C)	1.295 (A3)
H24-2-1	玉茂宮	34.586 (B2)	12.232 (5%)	0.292 (C)	1.426 (A2)
H24-2-2	藤姫岩	46.262 (B1)	11.790 (A1)	0.425 (C)	1.450 (A2)
H24-3-1	百合波	78.244 (5%)	14.600 (1%)	0.978 (A1)	2.022 (1%)
H24-3-2	光文代*	-6.171 (C)	8.740 (A2)	0.845 (A2)	1.261 (A3)

(注意)：*は母牛の期待育種価

()内は、下記のランクを示す。

(1%);上位1%以上、 (3%);3%以上1%未満、 (5%);5%以上3%未満
 (A1);10%以上5%未満、 (A2);15%以上10%未満、 (A3);25%以上15%未満
 (B1);1/3以上25%未満、 (B2);平均以上1/3%未満、 (C);平均未満

なお、育種価は第35回育種価 (H24.4.1公表) による。

2 検定方法

検定方法は、公益社団法人全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定法（直接検定）に従い、次のとおり実施した。

- (1) 検定開始月齢：6～7カ月齢
- (2) 検定期間：112日間
- (3) 検定飼料及び給与方法
 濃厚飼料：直接検定用飼料を体重比 1.0～1.3%制限給与
 (DCP 12.5% TDN 70.5%)
 粗飼料：チモシー乾草を飽食

3 調査項目

1日当たり平均増体量 (DG)、365日齢補正体重、飼料摂取量、体重 (2週間毎)、各部位測尺 (4週間毎)、終了時審査得点

検定成績

平成24年度に検定が終了した5頭について、検定成績を表3に示した。

1 増体量

1日当たりの平均増体量は、最高 1.63kg「茂花矢」、最低 0.99kg「藤姫岩」、平均 1.298kgであった。

また、365日齢補正体重は、最高 534kg「茂花矢」、最低 448.8kg「玉茂宮」であり、平均 481.3kgであった。

2 飼料摂取量及び粗飼料摂取率

飼料摂取量の内、蛋白質関連は CP で表示され、「茂花矢」が最高で 138kg であり、最低は「玉茂宮」の 115kg で、平均は 125.0kg であった。また、飼料摂取量の内 TDN は、最高が「茂花矢」の 725kg で、最低は「玉茂宮」の 565kg であり、平均は 635.8kg であった。

また、粗飼料摂取率は、最高が 50%、最低が 46% であり、平均は 47.6% であった。

3 終了時の発育及び審査得点

終了時の体高の最高は 131.0cm の「茂花矢」で、最低は「玉茂宮」の 122.6cm であり、平均は 126.76cm であった。公益社団法人全国和牛登録協会の定める和牛発育標準 (雄) に基づく発育判定では「5-(4)」が 1 頭、「4-(5)」が 1 頭、「3-(5)」が 3 頭であり、良好な成績であった。

また、審査得点は、最高が「茂花矢」の 83.4 点で、最低 81.7 点が「千恵藤」であり、平均は 82.74 点であった。

4 候補種雄牛の選抜

岡山県和牛改良委員会において、直接検定成績、血統及び体型等の結果を総合的に検討した結果、「信茂玉」(本原登録後「美咲秋藤」に改名)と「茂花矢」を候補種雄牛として選抜した。

表3 検定成績結果

(kg,%cm,点)

セットNo.	名号	1日平均 増体量	365日 補正体重	飼料摂取量		粗飼料 摂取率	発育			審査得点
				CP	TDN		体高	(σ 値)	発育判定	
H24-1-1	千恵藤	1.22	483.1	119	618	46	124.6	1.8 σ	3-(5)	81.7
H24-1-2	信茂玉	1.44	474.9	119	623	47	128.0	1.5 σ	3-(5)	83.1
H24-1-3	茂花矢	1.63	534.0	138	725	50	131.0	2.8 σ	5-(4)	83.4
平	均	1.43	497.3	125.3	655.3	47.67	127.9	2.03 σ		82.73

セットNo.	名号	1日平均 増体量	365日 補正体重	飼料摂取量		粗飼料 摂取率	発育			審査得点
				CP	TDN		体高	(σ 値)	発育判定	
H24-2-1	玉茂宮	1.20	448.8	115	565	49	122.6	1.0 σ	3-(5)	82.4
H24-2-2	藤姫岩	0.99	465.9	134	648	46	127.6	1.5 σ	4-(5)	83.1
平	均	1.10	457.4	124.5	606.5	47.50	125.1	1.25 σ		82.75

参考文献

- 1) 和牛登録事務必携（平成 17 年度版）.（社）
全国和牛登録協会編. 158-160